

A) 積極的に防除作業を行い、島内からの排除を目指す種類

ツルヒヨドリ

キク科 *Mikania micrantha*

原産地：熱帯アメリカ

外来生物法：特定外来生物

生態系被害防止外来種リスト：緊急対策外来種

IUCN 世界の侵略的外来種ワースト 100

特徴

多年生のつる植物。周囲の植物に絡みつきながら厚い藪を作り、被覆するように成長する。旺盛な種子繁殖に加え、千切れた断片からでも増える。つるは 1 日で 10cm も伸張すると言われ、英語で mile-a-minute weed (1 分で 1 マイル広がる雑草) の異名を持つ。

葉 : 葉の長さは 4~13cm、幅 5~10cm。表面は少し光沢があり、毛は生えない。1 カ所から 2 枚の葉が出る対生。基本的にはハート型だが、少し伸びたり、角張ったり形は様々。葉の縁はギザギザしている(鋸歯)。

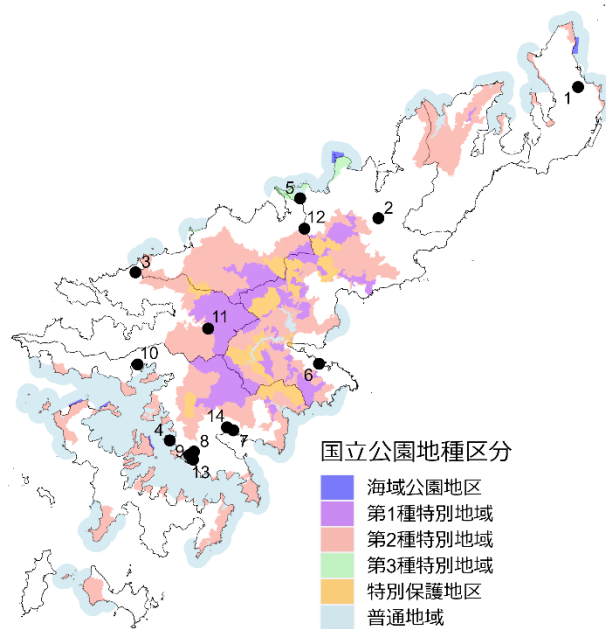
花 : 11~12 月にかけて小さな白い花が集まった集合花を咲かせる。一つの花の大きさは 3mm ほどで、1 月頃には綿毛のついた軽い種を大量につける。



影響 : 他の植物を覆いながら生育するため、覆い尽くした下の植物に日光が届かなくなり枯らしてしまうなどの影響がある。このようにして在来植生と競合するだけでなく、果樹などの農作物を被覆することによる農業被害も報告されている。

侵入状況 : 令和6年1月現在、奄美大島内では道路沿い法面、河川内等14カ所の生育が確認されている。

ツルヒヨドリ生育地点(奄美大島)
2024年1月17日現在



島名	大地点	地点名
奄美大島	1	須野ダム
奄美大島	2	名瀬平田町
奄美大島	3	宇検
奄美大島	4	手安-久根津間
奄美大島	5	根瀬部-国直間
奄美大島	6	市-戸玉間
奄美大島	7	網野子旧国道
奄美大島	8	地藏トンネル
奄美大島	9	古仁屋仲金久川
奄美大島	10	久慈-古志間
奄美大島	11	湯湾
奄美大島	12	大名線
奄美大島	13	古仁屋民有地
奄美大島	14	勝浦集落

対策状況 : 11カ所で継続的な防除作業を実施。手作業による抜き取り、防草シートの設置、除草剤による防除が行われている。道路沿い法面などの急傾斜地、高所、落石防止金網の裏などでの防除に課題が残る。

防除のコツ : 11~12月に花を咲かせ、種子をつけるため、この時期以前の駆除作業が望ましい。茎の千切れた断片からも再生育するため、つるの根元をたどるように丁寧に駆除していく必要がある。約1、2ヶ月で取り残した株からの再生育が視認しやすくなるため、1、2ヶ月間隔での定期的な駆除作業が望ましい。